

## 2008 年度活動報告

第 6 回総会で報告された「2008 年度活動報告」及び今年度の助成金事業「安心して、みんなで街に出かけよう」計画を以下に掲載します。

### (1) 情報交流

#### 「フレスター」(交流ニュース)の発行

毎月(12 回)発行し、2009 年 2 月に、フレスター発行 50 号の記念特集号として『折尾のまちづくり～私の願い～』の冊子を作成した。

##### 課題

折尾マップ作成時に、フレスターを配布したらお店においていただけるといった話があったが、郵送料や他の会員団体との差別化をどうするかという問題が生じたため保留とした。

「折尾くちこみマップ」

- 1) 本会とゆめ広場の知名度を高め、フレスターの配布先の拡大を図るため、又、お店との連携を深めるために「折尾くちこみマップ」をカラー 200 部発行した。17 店舗を掲載し、各店舗に 10～15 部配布した。ゆめ広場では配布後すぐなくなるなど需要はあった。

##### 課題

需要はあるものの、掲載依頼時広告料が無料のため賛同してくれた店舗が多い。そのため、小型飲食店で広告掲載料を取るの難しい。(学祭に広告を出しても来客数が増えないこともあり、効果が見込めないと思われる)

#### ホームページ

フレスターの発行に合わせ情報更新ができた。

#### 世話人会のメーリングリスト

世話人会の情報交換を、さくらインターネットのメーリングリストで行う。

#### 会員相互のメーリングリスト

2006 年 3 月 9 日より九州共立大学の細野賢治先生に管理していただきメーリングリストによる意見交換を行ってきたが、2009 年 3 月 19 日をもって細野先生の移籍にともない当該メーリングリストを閉鎖した。

### (2) ゆめ広場部会

#### 利用者と居るだけボランティア

ゆめ広場の利用者と「居るだけボランティア」の実態を把握するために 2008 年 6 月から「ゆめ広場当番日誌」をつけることにした。その結果の概要は以下の通りである。

< 月別利用者数 - 当番記録に基づき推計した数 >

6 月	3,090 人	7 月	3,844 人	8 月	3,776 人	9 月	3,270 人	10 月	3,162 人
11 月	3,030 人	12 月	3,038 人	1 月	3,696 人	2 月	2,971 人	3 月	2,832 人
合計	32,709 人	月平均	3,271 人						

< 居るだけボランティア者数 - 12 月 28 日から 1 月 4 日までは休業 >

6 月	79 人	7 月	108 人	8 月	105 人	9 月	105 人	10 月	122 人
11 月	107 人	12 月	82 人	1 月	62 人	2 月	54 人	3 月	120 人
合計	944 人	月平均	94 人						

## リサイクルバザー

本会の財政状況が非常に厳しいなかで、ゆめ広場の存続のために「リサイクルバザー」を始めることにした。6月はミニバザーという形態(カラーボックスの一部に展示)で出発したが、次第に規模を拡大し、7月から本格的に常設展示販売を今日まで続けてきた。

この企画には会員のみならず地域住民や、行政をはじめとする諸団体から数多くの品物を提供していただき、また販売額でも多大の協力を得て、ゆめ広場の存続と地域交流に多大な貢献ができた。(H20年6月～H21年3月の販売額：342,533円)

しかし、最近はかなり減少しているため、在庫品が増えており、半額セールを実施している。

## クリスマス会

恒例事業となったクリスマス会を12月12日に開催し、約30名の参加者で大いに盛り上がった。手作り料理や飲み物、ケーキ、コンビニからのおにぎり、パンなど食べきれないほどの提供品があった。

## 茶話会

6月から月1回の茶話会を開催した。参加者は次第に増加している。(最近15名前後)会員と会員外の方々との交流が活発となり、新しい会員の獲得につながっている。

## 大掃除

5月からゆめ広場の大掃除を始めた。当初は月2回、8月から月1回、床磨きやガラス窓磨き、テーブルや本棚などの拭き掃除を行っている。参加者は毎回7名～8名である。

## 有料掲示板の設置

本会の財政を支えるために、有料掲示板のコーナーを設置した。

## 自販機の設置

本会の財政を支えるために「盲導犬支援募金充電器」を設置した。また、飲料用自販機を温かい飲み物が出る機種に取り替えた。

## **(3) 人にやさしい街づくり部会**

折尾のまちづくり全般(ハード・ソフトの両面)について、ユニバーサルデザインの考え方を踏まえた調査活動や提案活動などを積極的に行う。

「まちねっと」に参加する(別記2-5- )

## **(4) 若者部会**

学生メンバーが中心となり「折尾くちこみマップ」を作成した。

2-1- 「フレスター」(交流ニュース)の発行を参照

## **(5) 地域交流事業(他団体との交流)**

### フレスターコラボ 2008

2008年11月3日当会が当初から開催している他団体との協働イベント「フレスターコラボ」を、地域通貨オリオン委員会の「ひとつぼてん」として、九州女子大学・大学祭で開催した。地域団体や学生の活動を知ることや交流を深めることができた。

### おりお未来21協議会

折尾地区総合整備事業を機会に、折尾のまちづくりに取り組んでいる様々な団体が北九州市とパートナーシップのもとに新しい折尾のまちを創りあげるために設立され、運営委員会と折尾駅舎保全・活用検討会議に参加する。

運営委員会

おりお未来21協議会の運営委員として副代表が参加

折尾駅舎保全・活用検討会議

学園&地域交流ネットワーク世話人から2人が参加

2008年10月9日～2009年3月26日(計7回、熊本と久留米・六角堂等視察)

折尾駅舎・堀川運河を保存する会

折尾駅舎保存の構成団体として参加し、歴史を継承したまちづくりの大切さや、そのための街づくりをシンポジウムや写真展で提案すると共に署名活動で折尾駅舎の保存を呼びかけた。

作品のパネル加工や設置の手伝い

「ありがとう！折尾駅舎」の開催

折尾駅にまつわる写真・絵画・エッセーなどを募集し、展示会を開催

2008年4月18日～2009年3月31日

北九州市福祉のまちづくりネットワーク(まちネット)

誰もが住みよいまちづくりのための意見交換会・現地調査・学習・検討などを関係行政・企業・障害当事者団体・専門家で行った。

定例会(隔月第3水曜日)

説明会や検討会

福祉公園の再整備、思永プールの整備、横断歩道内の点字誘導ブロック、西鉄バス広告付きバス停など北九州市や関係機関と協働で検討会を行う。

2008年4月1日～2009年3月31日(計8回)

点検活動

説明や検討にあがった場所など11ヶ所を実際に点検し、提案を行う。

バスハイク

2008年11月2日、(株)総合システムさんのご厚意で「ガスならできる展」のバスハイクに、波懸はまゆう太鼓の方々と共に参加(大型バス)。

最初の「ガス展」では、ガスが創りだす暖かみのある快適で健康な暮らしを体験すると共に、ガス機器の先進性、安全性、環境性等を実感することができた。

「海の中道海浜公園」と「マリンワールド」に行き、交流や親睦が深まりとても有意義だった。

北九州市民サミット

市民活動の共有により、よりよい活動のための意見・提案・資金・物・人の援助を受けられる機会をつくる北九州市民サミットにブース型で参加した。

2008年4月19日「つながれ！100万人の一步！ 私達が活動を続ける理由(わけ)」

八幡西ボランティア連絡協議会

北九州市を中心に活動するボランティアグループの横の連絡を取り合いながら活動を更に活性化させており、情報提供などを行うとともに、「いるボラ」の紹介をしてもらう。

2009年3月22日「ボランティアフェスタ in 八幡西」で広報

風景にきづく、景観をきづく

福岡県の「風景にきづく、景観をきづく」実行委員会と共同で、10月2日に「体験・体感ツアー、折尾駅周辺の街歩き」、3月1日に「景観シンポジウム」を行う。

北九州市民カレッジ

「北九州市民の“学び”を企画しよう」(2008年度前期講座)

5月28日、『地域の現状把握 - 自分の地域のすばらしさ発見・宝探し -』に於いて中岡重隆グループが「なぜ、今折尾にゆめ広場か」と題して事例発表を行った。

## (6) 助成金

地域ボランティア活動支援促進事業助成金(平成18年度に、ゆめ広場家賃として使用済み)  
〔今年度の計画〕

「WAM(独立行政法人福祉医療機構)」の「長寿・子育て・障害者基金事業助成金」が決定。  
実行委員会を立ち上げ実施をする。

この事業を通して、障害者の就労支援をすると共に地域の活性化を図る。

障害者の「してほしいこと」が当会のネットワークを通して「できること」とつながることにより、障害者の自己実現を促し、当会の目的である交流の活性化や地域の活性化につなげることができる。

事業名:『安心して、みんなで街に出かけよう』事業

事業目的:障害者の就労への理解が深まると共に、授産品の販売経路の拡大で売上増加が期待できる。また、ボランティア団体等との交流や活動が活性化し、安心して外出できる環境づくりへの共働りの取り組みの発展が期待できる。

事業概要:障害者の就労支援と障害者・高齢者の社会参加を促進するための事業を行う。

- 1.授産施設・小規模作業所等の情報調査。
- 2.施設や授産品などの広報と普及啓発活動。
- 3.当団体の「ゆめ広場」やホームページで授産品の販売。

詳細内容:・授産施設・小規模作業所等の情報収集をする。

- ・ホームページでの広報と授産品の販売をする。
- ・アンテナショップの場としての「ゆめ広場」活用する。
- ・冊子(ハンドブック)を作成する。
- ・ボランティア団体等との交流と社会参加の促進を図る。

## (7) 世話人会の運営

2008年度4月26日の定期総会で選出された世話人は12名であった。総会後の世話人会は5月から9月までは月2回、10月からは月1回、今月まで合計17回開催した。世話人の出席状況は芳しくなく、委任状を含めて会議が成立する状況である。しかしこれは世話人になっていただいた当初よりある程度予想されたことである。仕事や他の活動が原因で例え世話人会にあまり出席できないでも本会の1年間の活動を考えた時是非世話人に就任していただき力を貸して欲しいと考えたからである。なお、オブザーバーの出席も数名あった。

2008年度の世話人会の主な議題は、財政問題に伴うリサイクルバザーの運営や有料掲示板の設置、賛助会員の拡大、募金活動、自販機設置など収入増に関する事項であった。また、ゆめ広場の運営の改善のために、「ゆめ広場当番日誌」を作成・記帳し、毎月、茶話会を開催する中で、居るだけボランティアの拡大に取り組み、相当の成果を上げることができた。

さらに、「折尾の街づくり」に関する他団体の様々な企画にも積極的に参加・協力した。

### 会則改定

#### 1 会費変更(第7条)

学生会員の会費については現行では500円となっているが、今年度より免除(無料)とする。